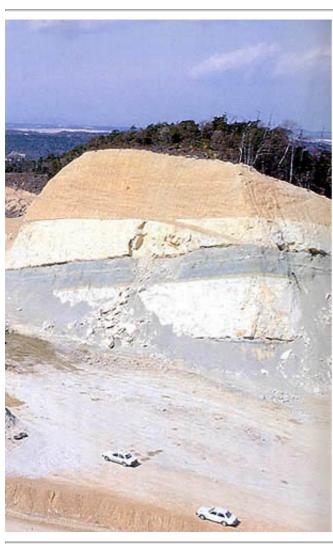


## 1.神戸にはどんな地層があるか



1983年に私たちは 『神戸の地層を読む1』 を書きました。「神戸の地層」といいながら、当時 造成がおこなわれていた現在の学園都市周辺の地層 の話だけに終わりました。

その後、数年間私たちはさらに開発の進む西区 へ、そして神戸市の外へも足を運び地層を追いかけ てきました。

その結果、前作を書いた当時とは比べものになら ないくらい情報も増え、わからなかったこともわ かってきました。この本は「1」 の改定版であ り、現在までに私たちの調べた結果のまとめです。

神戸層群と大阪層群の地層 (須磨区総合運動公園北)

3500万年前 1の神戸層群(白い地層)の上に200万年前の大阪 層群(茶色の地層)が不整合で重なる。遠方は西区の大阪層群 が分布する丘陵である。

原著では、神戸層群は、新生代新第三紀(1500万年前)の地層とあつかっていますが、その後の研究で、 神戸層群は新生代第三紀(3500万年前)の地層であることが判明しました。ここでは、3500万年前と、全面的に書き直 しています。



神戸の自然シリーズ 17 神戸の地層を読む2